日本史学科ガイダンス

1、各時代の専任教員を配置　→数少ない日本史学科であり、全国から学生が集まっています。

古代史→吉田歓教授：都市史・歴史考古学・建築史・東アジア文化史・平泉の歴史文化

中世史→薗部寿樹教授：村落史・宮座史・祭礼史・公家の文化史

近世史→小林文雄教授：文化史、村落史・芸能史・書籍史料論・大学史

近代史→布施賢治教授：地域史・軍事史・教育史・大学史

中世女性史→山田彩起子准教授：平安～鎌倉時代の女性史・王権史・宮廷社会史

日本文化史→原淳一郎教授：宗教史・旅行史・思想史・民俗学

2、授業科目の配置（基礎から応用・深化へ）

基礎　→概説、文化史、考古学、民俗学、女性史

史料の読解力　→古文書学、講読

※高校で学ぶ古文･漢文の文法知識が必要不可欠なので、今のうちにしっかり学んでおくこと。

テーマ別の研究を深める　→特殊研究、演習、卒業研究

3、史学実習

学内外の講師による講義、史跡見学、祭礼見学、伝統産業に触れる…

1年秋　学外実習（日帰り）

2年　　ゼミごとの研修旅行（8～9月、2泊3日）

4、資格

中学校教諭（2種・社会)、　図書館司書、学校司書教諭、

学芸員試験科目免除、　ピアヘルパー（カウンセリングの基礎資格）

5、四大編入について

四大編入希望のかたは、英語と小論文をしっかり勉強しましょう。キャリア支援センターのサポートもあり、毎年希望者の多くが、国公立(山形大学・福島大学・新潟大学・岩手大学・北海道教育大学・千葉大学等)を含む四大への編入学に成功しています。

6、就職について

最近 3 年間の主な就職内定先

①民間企業

(公財)米沢上杉文化振興財団･(公財)山形県埋蔵文化財センター･きらやか銀行・新発田信用金庫・東北ミサワホーム(株)・日本調剤(株)

②公務員

福島県職員(司書)・群馬県職員・米沢市役所

民間企業・公務員いずれへの就職を希望する場合でも、キャリア支援センターでは、各種講座や説明会を開催したり、面接指導を行ったりして手厚くサポートします。

7、入試について

①総合型選抜(AO)

募集人員 10 名

選抜方法 面接、調査書、志望理由書、予備面談への出席

予備面談 10 月中旬

本面接　予備面談の翌日

※合格したら必ず入学することを前提とする入試です。

②学校推薦型選抜

募集人員 16 名（県内高校から 8 名程度）

推薦条件 調査書全体の学習成績の状況（評定平均値）が 3.5 以上

または

地理歴史、公民いずれかの教科の学習成績の状況（評定平均値）が 4.0 以上

何れも、小数点以下第２位は四捨五入

小論文･面接日　11 月中旬

※合格したら必ず入学することを前提とする入試です。

③総合型選抜(自己推薦)

募集人員 7 名

推薦条件 大学入学共通テストの受験　地理歴史、公民から 1 科目

選抜方法 大学入学共通テスト、面接、調査書、自己推薦書・活動報告書

面接日　　2月初旬(令和4年は2月2日(水)に実施)

※合格したら必ず入学することを前提とする入試です。

④一般選抜

募集人員 17名

出願資格　　大学入学共通テストの受験　地理歴史、公民から1科目　国語、外国語（リスニングを含む）から1科目

選抜方法　　大学入学共通テストの受験、小論文、調査書

小論文試験日　　2月中旬(令和4年は2月18日(金)に実施)

試験会場　　米沢・仙台・鶴岡

・総合型選抜(AO)と学校推薦型選抜の面接練習を高校の先生にしっかりトレーニングしてもらって下さい。

・総合型選抜(AO)の予備面談では、関心ある日本史のテーマについてプレゼンして頂きます(発表形式自由。時間は5分以内)。自分がどれだけ日本史の勉強に熱意を持っているか、精一杯アピールして下さい。

・学校推薦型選抜の小論文は、高校の先生に繰り返し添削して頂きながら論述力を磨きましょう。

・日頃から歴史のニュースや新聞記事・書籍を読んで考えをまとめておきましょう。